

いざという時、本当に助けとなるのは
ご近所(助)の助け合いです。

平成26年11月8日
せんげん支隊 情報・広報班

2014年も早、11月となりました、せんげん支隊の活動も、今月16日の支隊防災訓練を残すのみとなりました。多くの方の参加を得て実のある防災訓練にしたいものです。

1 10月の活動報告

- ① 旗出し訓練(10/4) 旗出し数 217 チェックに参加した活動隊員(一般隊員も含む) 32名
- ② 自治会総合防災訓練(10/4の午後) 支隊からの参加者43名
- ③ 第7回支隊長会議(10/13) ④ 支隊便り第16号発行(10/15)
- ⑤ 市主催リーダー講習会(10/19、10/26) 支隊から石崎支隊長参加

2 11月の活動計画

- ① 情報・広報班専門会議(11/1) ② 非常時体制検討プロジェクト(11/2)
- ③ 第8回支隊長会議(11/3)
- ④ 支隊便り第17号発行(11/8) ⑤ 地域防災学習交流会(11/9・日) 午後2時～
- ⑥ せんげん支隊総合防災訓練(11月16日・日) 4時



3 せんげん支隊2014年度総合防災訓練のご案内

支隊の総合訓練を以下のように実施します。私たちはこれを今年の活動の集大成と位置付けています。活動隊員は全員、一般の隊員の方にも是非参加していただくようお願いします。

- ① 日時 11月16日(日) 午後1:00～3時(集合午後12:40)
- ② 場所 せんげん公園(町田市消防署南出張所並びに消防団第2分団にご指導をお願いしています)
- ③ 訓練内容
 - ・スタンダパイプ放水訓練
 - ・AEDによる心肺蘇生訓練
 - ・炊き出し訓練(アルファ化米)
 - ・消火器による初期消火訓練
 - ・119番通報訓練または三角巾救護訓練
- ④ 雨天時 中止とします

※ アルファ化米1パック、乾パン2パックのお土産があります。

4 再度「感震ブレーカー」について

大震災時の火災の3割が電気によるもの(過熱やショートのため)一朝日新聞10月12日号。東日本大震災以後1か月間の余震を含む地震で起きた火災の原因の3割が電気によるものであったという。3.11の大震災発生直後に起きた火災の6割以上が電気火災であった。(津波による火災を除く)阪神淡路大震災でも判明した出火原因の6割が電気火災であったとされている。

ことほど左様に電気火災を防ぐ手立てを講ずることは自主防災隊にとって急務である。「感震ブレーカー」は、電気火災防止にきわめて役立つものと言われているが、全国調査では6.6%と極めて低い数字である。「存在が知られておらず、必要性が理解されていない」「自治体の補助がない」などその原因は様々だが、防災隊としては、皆さんに自助の一環として「感震ブレーカー」の設置をお勧めします。費用は機能にもよりますが、1,000円台から数万円まで、自分で取り付けることのできるものや、電気工事の必要な物まであります。

(10/4日の防災訓練でも展示されていまして参考になると思います。資料を希望される方は812-4532窪田までご一報ください。(私も三和小川店にて購入しました)

5 防災格言 (「近助」という考え方の続きは次号に回します)

- ・「安心」したときから、「安全の崩壊が」始まる(安全バイアス)
- ・遠くの親戚より、近くの隣保共助(近助)